

じゅしゅう

春季彼岸会 厳修

「何のために生まれて、どこへ向かって生きているのか。むなしい人生を送らない、いのちの意味や方向を与えていく、これが仏教・浄土真宗なのです。」この度の彼岸会でお聴聞させていただきました。

令和五年三月二十一日、新型コロナウイルスの影響が少しずつ落ち着きを見せ始めている中、ここ数年より少し多めのご参拝をいただき、春の彼岸会を厳修させていただきました。正信念仏偈の行譜をお勤めした後は、朝山大俊先生のご法話でした。ご讚題は「本願力にあひぬれば、むなしくすべしひびくごなき」

功德の宝海みちみちて、煩惱の濁水へだてなし」をいだかれて、冒頭の内容を丁寧にお伝えくださいます。

阿弥陀さまは私のいのちを死んだら終わりにするのではなく、仏のいのちへ生まれさせるこの願いを持たれました。(私のいのちが生まれることを誕生、仏のいのちへ生まれることを往生と言います。)それは、私が何のために生まれて、どこへ向かって生きているのかという確かな依りどころを持たずに、迷い、むなしい人生を送っているからこそ阿弥陀さまは願われたのです。そして、願いを願

第48号
(通算388号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・4月19日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットの無料レンタルもあります。お友だちをお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

いだけで終わらせず、必ず叶うようにと仕上げられ、はたらきとなつて今私に届いています。これを「本願力」と言います。根本の願いである本願がはたらきという力を持つて私に今届いているという大切なお言葉です。

ご本山のEPOにこのご和讃の解説がありました。

本願のはたらきにあつたならば、もはやいたすらに迷いの生死を過ごす人はない。宝の海のような功德が身に満ちみちて、私たちの煩惱の濁水も往生成仏の妨げになることはない。

本願力を信ずる者は、南無阿弥陀仏の広大な功德を恵まれるから、煩惱を抱えながらも、もはや再び迷いの生死を繰り返すことがないと詠われています。とく

に「むなしくすべしひびくごなき」の意を中心として、本願力を信ずる者の人生は、真実に裏づけられた浄土への確かな歩みとなることを、ともに喜ばせていただきます。しよう。

私が実は迷っていたんだと気がつく前から、阿弥陀さまは私のことを心配してくださっておられました。

ああ 弘誓の強縁

多生にも値ひがたく

真実の浄信

億劫にも獲がたし

たまたま行信を獲は

遠く宿縁を慶べ

親鸞聖人「教行信証 終序」



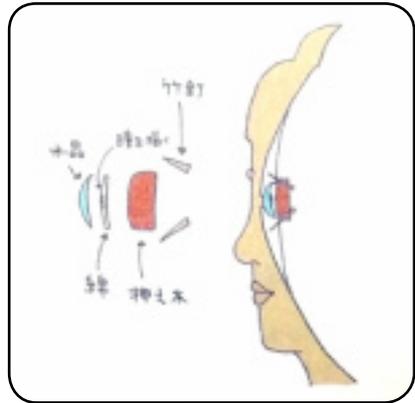
御文章に聞く(第42回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

末代無智章(五帖第一通) 在家止住の男女た
らんともがらは、こころをひとつ
にして・阿弥陀仏をふかくたのみ
まいらせて、さらに余のかたへこ
ころをふらず・一心一向に仏たす
けたまへ申さん衆生をば、たと
い罪業は深重なりとも・かならず
弥陀如来はすくいませすべし、
これすなわち・第十八の・念仏往
生の誓願のこころなり、かくのご
とく決定してのうえには・ねても
さめてもいのちのあらんかぎり、
称名念仏すべきものなり、
あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。自分が一番大切にしなければならぬものを「確かな依りどころ」と言っています。蓮如上人は「阿弥陀仏をふ

仏教語辞典



鎌倉時代の仏師。父は慶派の仏師である康慶。「日本のミケランジェロ」ともいわれている。代表作に東大寺南大門の金剛力士像や円成寺の大日如来像などがある。奈良の仏師で、京都の仏師に比べ勢いが劣っていたが、水晶に目を描いてはめ込む「玉眼」という技法を生み出した。

運慶

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

かくたのむ」ことだと教えられます。その依りどころがあっても、それをいいただき、自らの道と受け入れることができなければ無意味です。その受け入れ方を明らかにしてください。それが「仏たすけたまへ」の言葉です。この「仏たすけたまへ」は、「仏さまたすけてください」と、お願いの意味で訳されます。しかし、言葉は用いる状況によって微妙に意味が変わっていききます。「阿弥陀仏おたすけてください」と、不安にかられてお願いしなければならぬのは、阿弥陀仏がたすけてくださるか、たすけてくださらないかが不確実の場合です。だから「どうぞたすけてください、お願いいたします」と、確定をお願いすることになります。実は、そうではない受け取り方があるので、また来月にお伝えします。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。コロナの状況が少しずつ落ち着いてきたと感じています。四月の報恩講法要からは慶讃法要と併修ということもあり、お付き合いのご法中さま方にご出仕の依頼をさせていただいたり、ご縁のある方々へ参拝のご案内をさせていただくことになりました。少しでも賑やかにご法要が勤められると思うと楽しみで仕方ありません。親鸞聖人の御誕生を偲び、今に伝わる浄土真宗のお念仏の教えを再確認するご法要にします。ぜひご予定いただきましたよう、お願い申し上げます。(釋法道)



年間法要行事に予定しています、顕証寺さまの蓮如忌法要参拝ですが、連絡があり次第、ご案内させていただきます。

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)
※十五日(土)十四時の初座に報恩講法要と親鸞聖人の慶讃法要を併修させていただきます。

行事案内

日時・四月十五日(土) 十四時・十九時
十六日(日) 十四時のみ
行事・報恩講法要並びに
親鸞聖人御誕生八五十年
立教開宗八百年 慶讃法要
場所・長原浄覚寺
講師・天岸淨圓先生